

対話集会「新未来セッション」の開催結果概要について

1 開催内容

・ 東部圏域

日 時：平成30年7月12日（木）午後3時から4時40分まで

会 場：城ノ内高等学校 大会議室

参加者：地元有識者3名，高校生33名，大学生6名，若者クリエイト部会10名

・ 南部圏域

日 時：平成30年7月13日（金）午後2時から3時35分まで

会 場：富岡東高等学校 大会議室

参加者：地元有識者3名，高校生29名，大学生2名，若者クリエイト部会6名

・ 西部圏域

日 時：平成30年7月17日（火）午後3時から4時40分まで

会 場：池田高等学校 大会議室

参加者：地元有識者2名，高校生33名，大学生1名，若者クリエイト部会5名

2 主な意見

(1) セッションでの主な意見

- ・ 有名人に徳島の食や良いところを発信してもらおう。
- ・ 「若者」にとって住みやすくするにはどうしたらいいかという視点が必要。
- ・ 田舎では店もシャッターが閉まっている。若者が集える場がほしい。
- ・ 人が少ないからこそその良さがあるのでは。
- ・ 地域づきあいができる町にしたい。
- ・ 子育てしやすい町にしたい。
- ・ 徳島県人が徳島に誇りを持つべき。
- ・ 当たり前にあることが実は素晴らしいことであることに気づきを持つべき。
- ・ 地域であいさつや声かけができる環境を継承・発展させていく。
- ・ 状況が類似している他県と協働して取組を進めていってはどうか。
- ・ 四国4県といっても外から見ると分からないので、プロモーションを工夫すべき。
- ・ 移住・定住については、地域住民と連携した受入態勢が必要（地域になじめるように）。
- ・ 徳島は公共交通の便が悪い。若者目線で充実させることが必要（自動車を前提としない）。
- ・ 徳島阿波おどり空港に海外からの定期便が就航してほしい。
- ・ 防災対策に力を入れることで、それが観光資源にもなるのでは。
- ・ 日頃からの清掃活動が必要。
- ・ マチアソビの開催回数を増やしてほしい。

(2) インターネット投稿掲示板での主な意見

- ・ 徳島は魅力が本当にたくさんあると思う。ただ、私の周りの若者もそうだが、それらを「知らない」人が多い。情報発信力に欠けているような気がする。
- ・ 情報発信の方法が大きな課題だと感じた。学校などでは地域との交流を大切にしたいボランティアやクラブ活動が盛んで魅力は沢山ある。しかしそれを発信しきれていないことが、人が来ない一つの原因だと思う。
- ・ 徳島を良くするためには地域とのマイノリティ文化を築くことが大事だと思う。
- ・ 地元の祭りには中高校生や大学生、新社会人などの若い人が少ない。若い人が

もっと興味を持ってきて、そこに参加しようとしてくれれば、今よりも活気のある場所になるのでは。

- ・ 第一次産業にAIって面白い。
- ・ 海や川で遊んだ経験が災害時にも役に立つ。
- ・ 美波町のサテライトオフィスに行ったことがあり、「半X半IT」がとても印象に残っている。都会では、サーフィンなんてできないだろうし、農業出来ることも徳島の魅力だと思う。
- ・ 体験・・・この徳島でしか出来ないような事をするのが大事だと思う。
- ・ お年寄りが活躍する社会にしたい。
- ・ もっと運動するべき。もっと運動できる施設を建設するのもよいアイデア。
- ・ 新未来セッションのような行事をもっと年間を通してしていくべき。

(3) アンケートでの主な意見

○2060年頃に希望する徳島像について

- ・ 徳島の魅力を県民全員が知っている。
- ・ 徳島ならではの特性をもっと活かした町。地元愛の強い町。
- ・ 若者たちが今よりも徳島を発展させていっている。
- ・ 様々な仕事に就くことができ、子ども・大人から高齢者、全ての人が生きがいをもって生活していけるような場所。
- ・ 徳島が世界中に知られている。
- ・ 誰もが暮らしやすい場所。地域の人との交流関係がある。
- ・ 過疎がこれ以上進まず、高齢者から子どもまで住みつくようなバラエティに富んだ場所。
- ・ 子どもの数が少しずつ増えて人口も少しずつ増えていき、徳島が活発になる。
- ・ 街に活気があふれ、スポーツが盛ん。
- ・ 都市部は交通が発達し、田舎部は自然が豊かで調和している徳島Onlyな社会環境。
- ・ 自然豊かで様々な文化に触れ合える県。

○今後10年の間にどのようなことに取り組んでいけばよいと思うか。

- ・ 色々な都会の企業をもっと受け入れてサテライトオフィスを作るべき。
- ・ 徳島の魅力を考える、ふれることのできる場をつくる(授業、イベント)。他の学生や大人と交流する機会をつくる。
- ・ 一人ひとりが徳島県民としての誇りや自信を持っていけばいいと思う。そうすれば、何かに取り組むときも活気や盛り上がりが出てくると思う。
- ・ 何かに「対抗」していく方法ではなく、何かに「対応」していく方法をとるのが良いのではないか。少子高齢化や交通の不便さをどうにかしようとするのではなく、それを逆手にとって利用することで低コストかつそこにしかない価値を生み出せるのだと思う。
- ・ 一人ひとりが徳島の魅力をもっと知る(特にこれからの将来を担っていく高校生など)。
- ・ 地域間・世代間の交流。交通の便。
- ・ 徳島県のいいところをPRする。
- ・ 自然は残しつつ、これからのニーズに合った生活を提供できるような体制を整える。
- ・ 地元徳島に県民1人1人が関心を持ち、文化や観光資源についてもっと詳しく知るべきだと思う。